



郷土愛を育むまちづくり

鏡石町長 木賊正男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
町民の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、町消防団の永年の功績が認められ、日本消防協会から消防団最高の栄誉とされる「特別表彰 まとしい」を受賞するなど、歴史に残る一年でありました。

さて、町では、鏡石町第6次総合計画に掲げた町の将来像である「未来へつなぐ ずっと安心 みんな元気に進めか」がみいし」を掲げて各種施策を展開しております。

その視点は、鏡石町の誇りと魅力あるまちづくりを通して、鏡石町が好きになる町民を一人でも多く増やすことであり、「郷土愛」を育むまちづくりが大切ではないかと考えております。そのため地域資源が全国ブランドである唱歌「牧場の朝」に歌われた緑豊かな自然環境と交通体系に優れた立地条件であります。

町民が安全で安心して暮らし続けるために、交通安全や道路等の老朽化対策に取り組むと共に、健康福祉センターほがらんを拠点に、子育てと健康長寿を支援してまいります。

また、駅東第1土地区画整理事業内には、商業施設がオープンするなど、ニュータウンが順調に形成されており、更には、地域間交流の中心である鳥見山陸上競技場の改修工事が間もなく完了し、リニューアルオープンを予定しております。

人口減少が顕著となり、持続可能な行政運営が求められておりますので、健全な財政運営に努めると共に、将来を見据えた施策を実施してまいります。

この町の「清々しさ」と「美しさ」を感じながら、町民が毎日を元気に過ごし、「マイタウン」と呼べるよう次の世代に繋いでまいりたいと考えておりますので、町民各位並びに関係機関の皆様には、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、新年が皆様にとりましても幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



町民に身近な議会づくり

鏡石町議会議長 角田真美

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃から町議会に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、世界情勢においては、解決の糸口がつかめないウクライナ戦争に続き、イスラエルによるガザ地区侵攻も勃発しました。一方、国内においては、自民党の総裁選、衆議院の解散総選挙などがあり、国内外ともに混沌とした一年となりました。

こうした中、わが町にとって大変嬉しいニュースがありました。それは、増子陽太選手（学法石川高校2年）が、昨年4月にドバイで開催された「U20アジア陸上競技選手権大会 男子3000メートル」で圧巻の走りをみせ、8分16秒06で金メダルを獲得したことです。わが町出身の若者が世界を舞台に大活躍をして、町民に勇気と感動を与えてくれました。令和7年も、鏡石町にとって明るい話題が続くことを、大いに期待するものであります。

また、昨年11月の民間のアンケート調査「住み続けたい街ランキング」では、福島県内で鏡石町が1位に輝きました。「子育てがしやすい」、「交通の便が良い」などの意見があり、今後の魅力あるまちづくりの参考となる貴重な内容でした。

現在、私は、福島県町村議会議長会の会長を務めており、全国町村議会議長会において、北海道・東北地方の代表として東奔西走しております。議論のテーマの中心は、「地方議員のなり手不足問題」であり、議員のなり手不足が深刻化する中、全国の議長会の方々から得た貴重な情報を町議会の議員間で共有しています。

町民の皆様には、町議会が地域課題の解決に役に立つ存在であると認知されるよう奮闘中であり、安全で安心した住みやすいまちづくりを進めているところですので、一層のご理解とご協力をお願いし、忌憚のないご意見とご叱声をお聞かせ頂ければ幸いです。

結びに、町民の皆様のご健康とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。